

澄

おん チョウ
すむ・すます

15画
シ 川 澄 澄

なりたち 上る意味の登(トウ)のなまりの「ヨウ」と、(「さんずい」との会意形声字。水は上澄んで、下が濁る。上方の水の「清い」こと、「澄む」ことを表した字。

▼澄む。清い。澄ませる。
清澄：澄み切った清らかなこと。
【用例】清澄な山の空気。
澄み切った空気。
【用例】澄み切った空気。

「明澄」ともいう。【用例】澄み切った空気。【用例】澄み切った空気。

上澄み：液体に溶けているものが底の方に沈んで、上方にできる澄んだ部分。



濁

濁

おん ダク
にごる・にごす

16画
川 濁 濁 濁

なりたち 溝の意味の濁(ツ)の仮借(カ)の蜀と、(「さんずい」との形声字。溝の水の「汚れ」濁っていることを表した字。また、「濁す」意味。

▼濁す。濁す。
濁水：濁った水。
濁流：濁った川や水の流れ。
【用例】氾濫した川の濁流。濁酒：日本酒の一種。白く濁っている。どぶろくともいう。

濁声：濁った声。
濁音：日本語で、かな文字に濁点(ニ)の付くもの。ガ・ザ・ダ・バ各行の音。
濁点：かなの右肩に打って、濁音を示す符号。

清濁：①清いことと濁ったこと。【用例】清濁合わせ呑む。(度量が大きい。)②清音と濁音。
▼乱れ汚れる。
汚濁：(世が)乱れて、汚れ濁ること。

混濁：混乱し、濁ること。
【用例】意識が混濁する。

湿

おん シツ
しめる・しめす

12画
シ 川 湿 湿 湿

なりたち 旧字体は濕。繭の意味の濕と、(「さんずい」との会意形声字。繭から糸を取るために湿水に漬けて湿らせることを表した字。「湿す・湿る」こと。

【みみ】

▼湿す。湿る。

湿気：湿り気。空気中に含まれている水分。

湿度：空気中に含まれる水分の割合。湿気の割合。

湿潤：湿り気が多いこと。

【用例】湿潤な風土。

多湿：湿度が高いこと。

低湿：土地が低く、湿度が高いこと。

湿地：湿り気が多い、じめじめした土地。【用例】湿地帯。

湿原：湿気の多い草原。

湿布：葉や湯や水に浸した布を患部に当てて炎症を治療する方法。また、その布。

【用例】湿布・冷湿布

【三知識】尾瀬ヶ原は日本の代表的な湿原。群馬・福島・新潟の三県にまたがり、ミズバシヨウの花などが見られ、風景も美しい。



【三知識】尾瀬ヶ原は日本の代表的な湿原。群馬・福島・新潟の三県にまたがり、ミズバシヨウの花などが見られ、風景も美しい。

潤

おん ジュン
うるおう・うるおす・うるむ

15画
川 潤 潤 潤 潤

なりたち 潤(門と玉との会意字で、家が財宝で潤う意味)と(「さんずい」との会意形声字で、「水に潤う」という意味の字。また、「湿り気を帯びる」意味。また、「物に恵まれる」つやがある意味。

【みみ】

▼潤う。潤す。湿り気を帯びる。

湿潤：湿り気が多いこと。

【用例】湿潤な気候。

浸潤：①水などがしみ込んで濡れること。②思想などが民衆の間にしみ込むこと。

【用例】急激な風潮が浸潤する。

③細菌などが体内を侵して広がること。【用例】肺浸潤

潤滑：滑っていて滑らかなこと。【用例】潤滑油(摩擦を少なくするために機械にさす油。また、物事を滑らかに運ぶもの)のたとえ。

▼つやがある。立派にする。

豊かにする。

潤色：①色を塗り、つやを出すこと。②事実でないことを付け加えて体裁を飾ること。

潤沢：物が豊かにある様子。

よみがた 潤筆・豊潤・利潤



よみがた 潤筆・豊潤・利潤

湿潤